

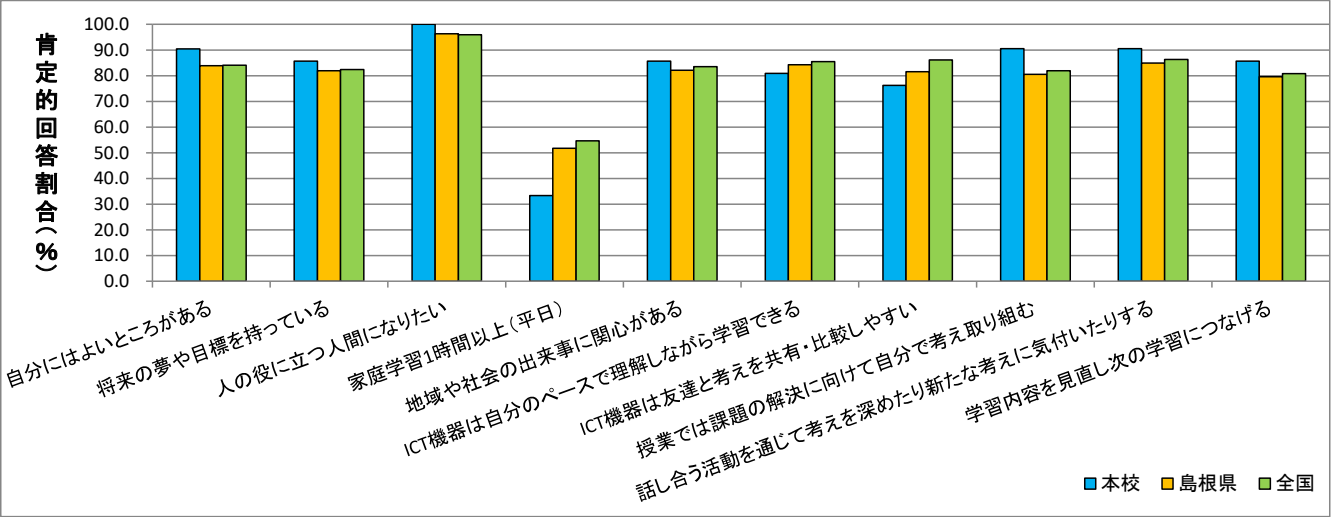
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○物語分を読み「自分の考え」「その理由」を書くことができる児童が多い。 ○主語・述語の定着はできている。 ●情報を整理してまとめることが難しい。 ●漢字の定着に難あり。	・調べたことを整理してまとめる活動の機会を増やす。また、活動後にはお互いのまとめを閲覧し合い、自分のまとめとの比較を行う。 ・学校の行間で行っているスキルタイムや、毎月行われている漢字会などを生かし、漢字の練習時間を確保する。
算数	●速さの問題において誤答が目立った。 ●記述問題の誤答、無回答が目立った。 ●基礎的な問題を落としていると思われる回答が目立った。	・公式などを用い、計算力を身に付けるだけでなく、日常生活とリンクする場面を想像させながら学習できるような時間を増やす。 ・日ごろの学習からイメージしたことを整理し、言語化していく活動を増やす。 ・基礎・基本の徹底のための時間を増やす。

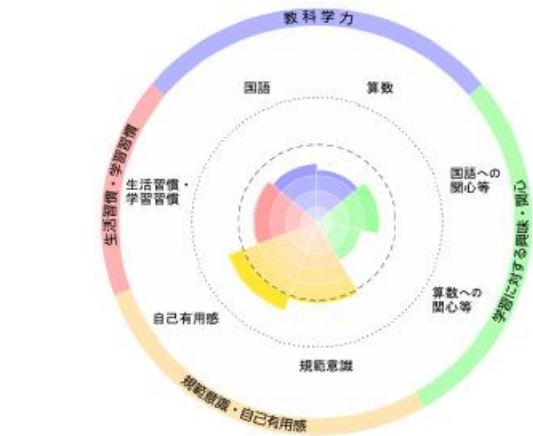
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○全国と比較して、自己肯定感が高い。 ○地域・社会への関心が高く、貢献したいと考えている児童の割合も高い。 ○自分で考えて取り組むこと、話し合う活動での自分の考えを深めることができている児童が多い。 ●国語・算数が好きかと問われるとバラつきが見られるが、大切だと思っている児童は多く、相対的になっていない。	・ICT等を活用し、個別最適な学びとなるよう推進していく。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・物事をイメージする力、見通しを持って考え、行動する力の育成。

【受検者数】
21 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。